

絶対他力と念仏の意義

- 「絶対他力」
  - 自分の力ではなく、阿弥陀仏の力によって救われる
  - 阿弥陀仏の慈悲にすべてを委ねよ
- 
  念仏
  - 「南無阿弥陀仏」と唱えること
  - 阿弥陀仏の救いを信じて感謝を表す

平等性と差別の否定

- 阿弥陀仏の慈悲
  - すべての人に平等に与えられる
  - 善人も悪人も救われる可能性
  - ⇒ 当時の社会では革新的な考え
- 
  「悪人正機」
  - 「悪人」こそが救いを受けやすい
  - 自分の限界を知っているため
  - ⇒すべての人の尊厳を認める思想

日常生活での信仰の実践

- 
  日常での実践
  - 他者への思いやりや感謝の心
  - 自分の欲望や執着に気づく
  - 阿弥陀仏の慈悲を信じ続ける
- 過ちを犯すことも
  - 再び正しい道に戻る機会
  - ⇒ 温かい自己受容と他者理解